令和
7年度

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果

COMPASS 東彼杵

討議日：令和7年10月18日
公表日：令和8年 5月13日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5		スペースについては、国の定める基準では児童一人当たり2.47㎡となっており、基準以上のスペースが確保されております。	感染症対策の観点から、事態が収束するまでは、児童が一度に密集しないよう分散して活動するなどの配慮をおこなっております。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	5		国の基準では、1つの事業所に児童発達支援管理責任者・管理者を1名以上配置し、職員数は児童10名までに2人、それ以上の児童が利用する際には児童5名につき職員を1人ずつ増員するよう定められており、基準配置以上の職員がおります。	安全面やより高い支援のために職員の増員なども検討してまいります。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5		毎日の清掃を徹底し、定期的な換気・消毒をおこなっております。感染症予防のため、利用児童の出入口を分けるとともに、入室時には必ず消毒を実施しております。 生活空間・遊びのスペース・療育スペースを明確に区分し、児童が活動に応じて切り替えられる環境づくりに努めております。	感染症予防の観点から職員は全員マスクを着用し、児童にもマスク着用を促し、できるだけ少人数で過ごすようにしています。 職員は必要時に検温をおこなっており、定期的な換気や、消毒も続けております。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5		毎日の清掃を徹底し、定期的な換気・消毒をおこなっております。感染症予防のため、利用児童の出入口を分けるとともに、入室時には必ず消毒を実施しております。 生活空間・遊びのスペース・療育スペースを明確に区分し、児童が活動に応じて切り替えられる環境づくりに努めております。	感染症予防の観点から職員は全員マスクを着用し、児童にもマスク着用を促し、できるだけ少人数で過ごすようにしています。 職員は必要時に検温をおこなっており、定期的な換気や、消毒も続けております。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5		児童の状況に応じて、パーテーション等で区画を設け、個室として使用できるようにしております。	今後も必要に応じて個別のスペースが作れるよう対応し、安心して過ごせるように努めてまいります。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5		その日勤務の職員が揃う時間に業務連絡、療育内容の確認、課題の把握、目標の設定、改善策など話し合いの場を設けております。 また月1 回リフレクション会議を実施し、支援の改善点、療育の計画などすべての職員が情報を共有できるように図っております。	当日参加できなかった職員には個別で内容を伝え、共有ノートを使って情報共有と認識の一致に努めております。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		年に一度は保護者様にアンケートを依頼し、ご意見を職員間で検討し、リフレクション会議などで課題や改善策を話し合っております。	いただいたご意見は真摯に受け止め、より良い療育のため、できるだけ早く業務改善に繋がるよう話し合いをおこない、利用児童が楽しく通い、保護者様にもご満足いただけるよう努めてまいります。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		毎日の業務連絡や月に一度のリフレクション会議をおこない、振り返りや意見交換等をおこなっております。	いただいたご意見は真摯に受け止め、より良い療育のため、できるだけ早く業務改善に繋がるよう話し合いをおこない、利用児童が楽しく通い、保護者様にもご満足いただけるよう努めてまいります。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		5	現時点では第三者評価は実施できておりません。	第三者による外部評価については今後の課題として検討してまいります。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5		管理者や児童発達支援管理責任者が中心となって定期的に研修を実施しております。内容については記録に残し、全員に伝わるようにしております。	今後も本社作成動画の視聴研修やオンライン研修、その他ケース会議などで勉強会を継続し、職員の資質向上・スキルアップの研修などの機会を増やしてまいります。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5		公式Webサイトにて公表しております。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5		より良い支援のために適切なアセスメントをおこない、保護者様からの情報を丁寧に聞き取り記録し、支援計画に反映しております。	今後も継続して適切なアセスメントに努め、面談や訪問をおこない、状況に応じて的確な情報収集に努め、支援計画に反映させてまいります。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5		アセスメントを使用し、職員間で情報を共有して共通理解を図って支援をしております。	今後も継続し、情報共有と認識一致のうえで職員全員が同じ方向性をもって支援できるよう努めてまいります。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか 。	5		支援計画の内容をもとに、各児童の療育プログラムを設定し、支援計画、支援内容を共有するための打ち合わせをおこなっております。	今後も継続し、情報共有と認識一致のうえで職員全員が同じ方向性をもって支援できるよう努めてまいります。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5		標準化されたアセスメントツールを使用し、保護者様のご意見・ご要望・児童の状況を漏らすことなく聞き取るよう努めてまいります。	今後も継続してアセスメントツールを活用し、児童の状況把握に努めてまいります。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5		児童発達支援管理責任者が中心となって児童の現状に合った支援計画を作成し、その都度見直しをおこなっております。 また関係機関との連携を図り、児童の現状と今後の課題に沿った計画を作成しております。	今後もガイドラインの基本を遵守し、さらにきめ細かく一人ひとりに適した支援内容が設定できるよう取り組んでまいります。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5		管理者や児童発達支援管理責任者、また支援担当者の全員がチームとなって立案しております。	今後も、その都度全職員で話し合いをおこない、いろいろな視点から立案してまいります。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5		基本的には習慣化と定着を目指した繰り返しの活動を実践し、また同時に児童の発達に応じた個別の活動を考案し、いろいろな状況に合わせて活動プログラムを工夫しております。	今後も、その都度話し合いを実施し、活動プログラムを立案し、季節の行事や制作なども取り入れ、変化ある活動も企画してまいります。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5		児童一人ひとりに合わせた個別支援を中心に実施していますが、児童の状況に合わせ、いろいろな課題を勘案し、組み合わせております。	活動に際して、基本的には三密にならないような集団活動を企画し、保護者様と共通理解の元、利用児童の一人ひとりに必要とされる支援内容を検討し、作成してまいります。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5		毎朝、職員用の掲示板にその日の利用児童の情報や役割分担を掲示し、全員で共有しております。 必要に応じて、その日の支援内容や児童の課題や気づき等、情報共有をしたり相談し合っております。	今後も職員用掲示板などで支援内容や役割分担について情報共有をおこない、認識一致を図ってまいります。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い､気付いた点等を共有しているか。	5		支援終了後には、管理者や児童発達支援管理責任者に支援員が報告し、情報は全体に周知できるよう努めております。 気づいた点は共有するために記録に残しております。	今後は終了時だけでなく、話し合いの機会を増やし、より良い支援内容へと反映できるように努めてまいります。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5		その日のうちに経過記録を記入し、その記録を振り返り、次の支援機会に活かせるように努めております。 経過記録は、出来たことだけでなく、苦手なことや課題も記録するようにしております。	経過記録は今後も主観を入れず、正確に記入し、その都度振り返り活用してまいります。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5		少なくとも6か月に1 回はモニタリングを実施し、支援計画の見直しをおこなっています。	今後も定期的なモニタリングを継続し児童の状況によって、必要な場合は、6か月の時期に拘らず、適宜見直しをおこなってまいります。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「４つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	5		項目ごとに分け、児童に合った必要な要素をあげ、支援計画を立てるように心がけております。	今後も継続し、情報共有と認識一致のうえで職員全員が同じ方向性をもって支援できるよう努めてまいります。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5		支援計画の内容をもとに、各児童の療育プログラムを決定し、自己決定を促すための活動をおこなっております。	今後も継続し、情報共有と認識一致のうえで職員全員が同じ方向性をもって支援できるよう努めてまいります。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5		対象児童について、事前に職員間で話し合い、現況把握のうえで、児童発達支援管理責任者が担当者会議に参画しております。	引き続き関係機関との連携を継続し、職員の質の向上により、どの職員でも参画できるよう、また事業所での情報共有ができるよう努めてまいります。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5		嘱託医の先生にも助言等もいただいており、また、積極的に他事業所や専門機関との情報交換もおこない、助言を受けております。	今後もいろいろな事業所への見学、交流や勉強会、また研修などを通して、さらに連携を図ってまいります。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5		定期的な会議の開催や送迎時に学校の先生方との連絡調整に努め、必要に応じて電話連絡や訪問をおこない、情報共有、相互理解を図っております。	引き続き、契約時や必要事項等に詳しく説明をおこなってまいります。 関係機関と連携し、情報共有、相互理解ができるよう努めてまいります。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	5		小学校などへの進学時には、保護者様のご意向を確認したうえで進学先との情報共有に努めております。	移行先への情報共有と相互理解に努め、次に繋がる支援を心がけてまいります。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	5		現在は該当する利用児童はおりませんが、必要に応じて電話連絡や訪問をおこない、情報共有、相互理解を図ります。	関係機関と連携を図り、情報共有、相互理解ができるよう努めてまいります。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	5		地域の児童発達支援センターとは連携が取れており、いつでもスーパーバイスを受ける体制が整っております。	今後も連携を取り、必要に応じてスーパーバイスや助言を受けてまいります。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		5	交流など活動する機会の実施ができておりません。	保護者様のご意向を伺いながら、慎重に検討してまいります。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	5		地域の事業所間の定期的な会議に参加できており、今後は協議会等への参加を心がけていきたいと思います。	今後は協議会等への参加を積極的におこない、研修等への参加を通じて職員の能力向上につなげてまいります。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5		送迎時のやり取りや連絡帳等を利用して保護者様と児童の状況や変化などの情報交換をおこない、共通理解を深めております。	今後も引き続き機会を逃さず情報共有を図り、保護者様との信頼関係の構築と共通理解に努めてまいります。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント･トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5		送迎などの機会に保護者様のお悩みやお困りごとをお聞きし、必要な助言や効果的な支援方法などをその都度お伝えするように努めております。 また療育上必要でご家庭での協力が仰げるものはご提案し、可能な範囲で取り組んでいただいております。	家庭連携の機会にお話しいただく機会も増えており、今後もご相談について丁寧に傾聴し、ご一緒に解決を図り、また事業所からも積極的に働きかけに努めてまいります。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5		契約時に重要事項説明書や利用契約書を通して詳しく説明をおこない、ご理解いただいております。	引き続き、契約時や必要事項等に詳しく説明をおこなってまいります。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5		ガイドラインに基づき支援計画を作成し、保護者様へは内容を分かりやすく説明したうえで同意を得ております。	ガイドラインから当該児童に必要な支援内容を選択し、「児童発達支援計画」を作成後、同意を得ております。 利用契約時に保護者様に説明をおこない、モニタリングの際には見直しも含めたご意向をうかがっております。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか 。	5		ガイドラインに基づき支援計画を作成し、保護者様へは内容を分かりやすく説明したうえで同意を得ております。	ガイドラインから当該児童に必要な支援内容を選択し、「児童発達支援計画」を作成後、同意を得ております。 利用契約時に保護者様に説明をおこない、モニタリングの際には見直しも含めたご意向をうかがっております。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5		お悩みの相談があった場合は、その都度助言をおこなうと共に、事業所内での様子を詳しくご説明するなど、保護者様への積極的な関わりや言葉がけを意識しております。 いただいたご質問や、ご相談はその場での回答が難しい内容は持ち帰り、早い回答を心がけて対応しております。	今後は連絡帳や送迎時だけでなく、保護者様と事前に日程を調整し、ご来所いただいたり、訪問させていただいたりして面談等がおこなえるよう図ってまいります。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。		5	保護者会やきょうだい同士で交流する機会等の支援は開催できておりません。	プライバシー保護の観点からも開催にあたってはアンケート等を実施し、保護者様のご意向を確認したうえで検討し、実施に向けて努めてまいります。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5		日々の利用に関するご意見やご相談については、迅速に対応できるよう配慮しております。 苦情への相談窓口も設けており契約時にご説明しております。	今後も同様に、ご意見や申し入れなどには迅速かつ丁寧に対応し、問題解決に取り組んでまいります。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5		公式Webサイトのブログにて事業所の様子を発信しております。また、年4回「COMPASSだより」を発行し、活動内容や行事予定等を分かりやすくお伝えしております。	今後も定期的な「おたより」や Webサイトでのブログでの活動報告を継続してまいります。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5		個人情報の使用や使用後の処理、保管については細心の注意を払い、鍵付きの書庫にて厳重に保管しております。	今後も個人情報についての細心の注意を払い、取り扱い・保管に努めてまいります。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5		児童との意思の疎通については個々の特性に応じて、イラストや写真などのツールを使用するなどの配慮をおこなっております。 保護者様については、連絡帳・電話・資料を通じて適切な伝達を心がけております。	児童及び保護者様と適切な意思疎通に努め、明確な情報の伝達を心がけてまいります。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		5	現在、行事に地域の方々をご招待する企画はおこなっておりません。	今後は保護者様のご意向を踏まえ、事業所主催の行事にお招きするなどの機会を企画・検討し、地域との交流も検討してまいります。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5		各種マニュアルを策定するとともに事業所に掲示して保護者様にご案内させていただき、定期的な訓練も実施しております。	保護者様へのご案内や、定期的な訓練を継続してまいります。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5		地震、火災、風水害、不審者対応マニュアルを策定し、事業所内に掲示して、発生を想定した避難訓練を毎年実施しております。	今後も定期的な避難訓練を継続してまいります。訓練の実施状況については、活動概要等を通じて保護者様へ周知に努めてまいります。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5		契約時に保護者様から服薬や発作時の対応などについて、詳細をうかがっております。	情報は全職員が把握し、緊急事態には適切に対応できるように配慮しております。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく 対応がされているか。	5		指示書がある児童については保護者様と情報共有をおこない、各児童のアレルギーに関しては一覧表を作成して全職員に周知しております。	今後もアレルギーのある児童については、医師の指示書に基づく適切な対応に努めてまいります。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5		研修に係る責任者を設け、事業所内で計画的に研修を実施しております。	研修の時だけでなく、日々の支援の中で資料等を掲示し、可視化して職員で共有しながら支援してまいります。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか 。	5		原則として身体拘束はおこないませんが、やむを得ず必要となる場合には、児童および保護者様へ十分な説明をおこない、承諾を得たうえで支援計画に記載しております。今後も適切な対応に努めてまいります。	今後も原則として身体拘束はおこなわない基本姿勢を守り、やむを得ず身体拘束をおこなう場合には、あらかじめ書面により保護者様から同意を得て、また、個別支援計画にも記載してまいります。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5		ヒヤリハット報告を徹底し、紙面に残して回覧し、周知ミーティングを行いながら再発防止につなげております。	記録と振り返りを継続し、事故防止に努めてまいります。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5		事業所に虐待防止責任者を選定し、事業所内研修や外部研修に参加し、認識を深めております。	今後も積極的に研修に参加し、新しい資料をもとに事業所内研修を開催し、職員間で情報共有をおこない、虐待防止に努めてまいります。
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5		原則として身体拘束はおこないませんが、自傷・他害等により安全確保が必要となる場合には、児童および保護者様へ十分な説明をおこない、承諾を得たうえで支援計画に記載し、適切な対応に努めてまいります。	利用契約書に準じ原則身体拘束はおこないませんが、万が一自傷・他害行動などにより支援に支障をきたすと考えられる場合に限り、やむを得ず身体拘束に踏み切る場合は、児童や保護者様に十分な説明をおこない、承諾を得て支援計画に記載するように努めております。